

こどもの性被害を防ぎ、
みなさんが安心して学校や習い事に
通えるようにするためには？
いけんのまとめ（対面回）

開催日：2025 年 7 月 20 日（日）

（注）本資料は、いけんひろば参加者個人のご意見を逐語的に記載したものです。

令和 7 年度 こども若者★いけんぷらす

目次

内容

2025 年 7 月 20 日回..... 3

 実施概要..... 3

 1 班（中学生、高校生・高専生年代 4 名） 4

 2 班（高校生・高専生年代 5 名） 11

 3 班（中学生年代 5 名） 20

 4 班（高校生・高専生年代 4 名） 26

2025 年 7 月 20 日回

実施概要

テーマ

- こどもの性被害を防ぎ、みなさんが安心して学校や習い事に通えるようにするためには？

開催日

- 2025 年 7 月 20 日（日）

参加者

- 中学生年代：7 人
- 高校生・高専生年代：11 人

形式

- 対面

1 班（中学生、高校生・高専生年代 4 名）

- みなさんが性的に嫌な思いをすることなく、安心して過ごせるよう、大人や学校にどんなことをしてほしいですか？

＜自分が被害にあったときに誰であれば相談しやすいか？＞

- ・ 信頼できる人。例えば学校の担任の先生とか。
- ・ 家族のお父さん、お母さん。
- ・ 相談しにくいのはスクールカウンセラー。学校につながっているから隠してと言っても先生に言われてしまう。電話とか SNS で国が実施している相談窓口もあんまりよくない。官僚の人がやるわけではなく委託の人がやるからテンプレが返ってくるので。相談するなら身内や自分が信頼置ける人にする。窓口は聴いてほしいだけならいいが、先につながることはない。
- ・ 信頼している友達。ほかのことは相談できるが、内容が内容だけに親には相談しにくい。スクールカウンセラーは相談しやすいが声掛けをためらってしまう。友達に相談しても解決につながらないかもしれないと考えると、相談窓口とか SNS を活用するかな。

＜スクールカウンセラーに対して嫌だと思うのか、相談するハードルが高いか？（誰かに見られるなど）＞

- ・ 使うハードルが高い。カウンセリング室に入っていくところを見られてとか。気にしすぎかもしれませんが。
- ・ 実際にカウンセリング通っていて今日話したいテーマありますかと毎回聴かれるが、家庭でけんかがあったことはなかなか言えない。（先生とかに）つながっていて情報が入っていくからあまり言いたくない。

＜家族とか身内に相談するのは情報が外に出ていかないからか？＞

- ・ 家族には言いたくない。
- ・ 1 番信頼しているのが両親なので言いやすいかな。初めて会った人やあまり面識ない先生やスクールカウンセラーの人にはいいにくい。ハードルが高い。担任の先生はまだ言いやすい。

＜スクールカウンセラーに相談するハードルが高いのはなぜ？＞

- ・ 事前にいう必要があるから。誰かに見られたりとか、先生にお願いするハードルが高い。

＜先生が加害者の場合など先生に言えない場合はどうするか？＞

- ・ 警察に相談する。サイバー犯罪専門があるように、こども専門のところを作ってそこに完全な第三者として相談する。犯罪性があればすぐ動いてくれそう。警察に相談できる場を作るのもいいのではないかな。性犯罪なら結局は警察に行くので、被害者が（警察の）1 番トップに直接行く。先生からの被害や、親からの虐待もあり得るので。
- ・ 匿名だと相談しやすいかも。

＜相談時に名前出すのはなぜハードルが高い？＞

- ・ 同級生に知られるのは嫌だ。知られるリスクが低い。ニュースで名前を出さないのと似てる。
- ・ スクールカウンセラーとか誰にも相談できなかったら、警察の # 9910 の相談窓口で電話して助けを借りる。
- ・ された程度に応じて確実なら警察に相談するが、確実ではないがもやったら地元の教育委員会の場合なら専用のインターネットサイトに相談する。警察には少し抵抗があるので地元の教育委員会に相談する。確実な場合は教育委員会に伝えれば解決が遅くなる場合もありそう。近くのほかの先生や学校の人、教育委員会の人（だと）事実じゃないと隠そうとして外に出さないで警察に行く。

- 学校や塾、習い事などで起こった、大人からの性的な嫌がらせや暴力について周りの人に相談したいとき、どうしたら相談しやすくなると思いますか？

＜信頼されている人から被害を受けた時の相談先としてチャットなどどんなものがあるといいと思うか？＞

- ・ 性と心の教育の専門家の講義にて、警察に相談するときは証拠が必要だからお風呂に入ってはいけなと聞いたが、何日もお風呂入らないとか無理じゃないですか。知らないままお風呂に入っちゃうと証拠が残らず、加害者が放置されてしまうので、病院とか簡単にいける場所があったり、なるべく早く行ったほうがいい。被害者になりうる人に（被害後に気を付けなければならないことを）伝えられる場所があった方がいい。
- ・ SNS が普及していて気軽に相談できそう。匿名で使えるもの。最初の 1 歩目で SNS はあると思うが、相談を受ける側が結局委託先とかだと規模とか程度が低くて、せっかく相談したのになと思うので、そこは行政に運営してほしい。あとは学校の利害関係がないようなところで管理するような SNS、電子機器でできるような相談窓口がいいと思う。
- ・ チャットだと安心感が持てないと思うので、電話で相手の声を聴きながら相談できる窓口を増やすといいと思う。それもお昼までとかの時間（の制限）がなくなってくれたらありがたい。そういうの（被害）って夜受けてすぐ連絡できなくて忘れてしまうこともあると思うから、「ん？」と思ったときに早いうちから相談できるように、24 時間対応の電話サービスとかを行政とかに用意してくれるとありがたい。

＜電話よりチャットがいいという方はどんな意見？＞

- ・ 親に相談しにくくてそっちの手段を選ぶと思うので、ほとんど家での通話だと思うので聞こえちゃったら意味がないので、そういう意味ではチャットかな。
- ・ どちらも使えるといい。チャットだったら文字で打たないといけな。文字を打ってその文字を見て、「うーん」って気持ちがしんどくなることもあるかもしれないし、そういう面では電話もありかもしれないですけど、電話だと口に出してしまうのでそれはそれでどちらもいい点悪い点あるのかなと思います。

＜電話、チャット以外にこんな相談方法あったらいいなはあるか？スクールカウンセラーさんとか対面はどう

か？＞

- ・ 規模が大きくなれば対面だと思うが、そこまでして対面のスクールカウンセラーとかに行くなら、警察などがやっている対面に行く。
- ・ 規模が大きかったら対面。規模が小さいのに相談したら、こんなので相談していいのかなとなる。重かったら絶対対面に行くし、どうなんだろうって思ったらチャットとか電話がいい。
- ・ 対面は対面でもいいが、すぐ関係性が切れてかつ信頼できる人。公立の病院とか、地方の病院が信頼できないとかそういうわけではないが。公立の病院でかけこみができるとかがよい。

＜関係性が切れるとは？＞

- ・ 関係性が切れるというか、関係性がもともとない人。これからも関係性があって、もともと関係性がある人だと話づらい。いまもクラスメイトとこういう深い話はなかなかできないと思うので、今日初めて会って今日さよならだからこそうい話ができるのではないか。

＜チャットでの相談の先に何をしてほしいとかあるか？＞

- ・ 委託が嫌だと言っているのはそういうところで、結局話を聴いて終わりなのであの人たちは。別にチャット形式の警察の機関でもいいが、望ましいのはチャットだけで相談された側が解決に導いてくれるってのがベストかなと思います。そういう意味でも委託は嫌いなので、受け手が相談する側に任せるのではなく、受け手が全部になってやるぐらいのチャット相談窓口があるといいと思う。
- ・ チャットだけで話を聴いてもらうだけでいい人もいるし、チャットから行動に移して解決に導いてほしい、2 択の人がいる。それを事前にチャット内で選択式にすることで、本当に解決に導いてほしい人と話を聴いてもらって心が楽になりたい人と分ける。相談される側もその 2 択で対応が変わると思うので。
- ・ 相談していくうちに選択する場面があって、この先も相談に乗ってほしい人には担当者がつききりになる。会員登録するなどして、1 回 1 回説明しなくても進捗を追って相談することができる。それはチャットでもできていいと思う。
- ・ 専門家などその分野に詳しい人に相談するのはいいと思うが人手が足りないと思う。大手外資 IT 企業の相談窓口は何の製品に関する相談ですかという問いに答えたと専門家を紹介してくれるが、上にあげるとまた 1 から説明しないといけなくなる。
- ・ 学校の校長先生や教頭先生やほかの身近な先生に加害者の方がいると相談しにくいので、その間に入ってケアをしてもらえるような教育委員会の先生。県教育委員会のチャットとか。

＜心情的に相談できない人にどんなサポートができそうか、またハードルを下げるためにはどうしたらいいか？＞

- ・ ハードル下げるには人だとやりにくいところもある。AI は行動には移せないが話を聴いてもらって楽になってもらってから相談したり行動に移してもらうのもいいと思う。
- ・ AI にそのままいうのではなく、国がチャット形式の機関を作って AI が応対して記録が残るようにする。その記録をみて国が行動に移せるようにする。ただ AI に投げるのではなく、本人がなんとも思わなく

ても記録を見たい人がまずいと思えばつなげることができる。AI を取り入れたチャット形式の窓口。

- ・ AI と話すなかでまずいと思ったら、自然とチャットに移行するような仕組み。検索エンジンでネガティブなことを打てば出てくるみたい。あれはダイレクトすぎるのもう少し自然な感じで。

<AI からの移行先は人なの？チャットなの？>

- ・ 相談窓口が出てくるよりは、AI との会話からチャットに移るみたい。
- ・ AI も活用するべきだと思うが、一時期話題になったうつ病の方のためのサイトの性犯罪版があったら気軽に話して気が楽になれるのではないかな。
- ・ AI から移行していくのはおもしろい。

- 学校や塾、習い事などで相談をする場合、相談を受ける大人にはどんなことを聴いて欲しいですか？どんな聴き方だと話しやすいですか？

<どんな聴かれ方であれば答えやすいと思いますか？>

- ・ 面談してもらう時は 1 対 1 で先生に受けてもらうのがいいと思う。でも 1 対 1 だとその先生が性被害について間違っただけの内容を話してしまうかもしれないので、監視してもらう人を置いて先生 2 人対 1 人でやるのがいいのか、わからないが。
- ・ 伴走者みたいな。言ってることがちゃんと伝わっているのか監視する役がいる方がいいのか、落ち着いて 1 対 1 で話したほうがいいのか。
- ・ 1 対 1 だと話しやすいのはあるが、間違ってしまう時もあるので書記ではないが、ちょっとその言い方はよくないんじゃないってとめられる人が必要。大前提として学校の教員が性意識や心理学などで、性被害って絶対だめですよって言うのはそこ。自分の体は自分のもので嫌なことは無理とちゃんとやっていいんだよっていう意識づくりを教員たちがすることで、こども達がそれ違うんじゃないってならないように責めないように恥ずかしく思わないようにと思う。

秘密は守るし、あなたの味方になるよ、ありのままのあなたが本当に好きなので、ありのままであなたはいってほしいから、ほんとに自分のこと大事にしてねっていう研修を進めていく必要もある。

もし教員が性加害者になってしまったら適切に対処していき、処分を下して欲しい。

ちゃんと再発防止策という形で、第三者機関を設けて調査して再発防止に努めていく必要があると思う。

身近なところで性被害ではないが生徒に対する不適切指導/暴力で自殺してしまったので、わかったとしても解決までにすごく時間がかかる。

10 年ぐらいかかってやっと再発防止策が作られた。とにかく解決に時間がかかる。

終業式で「セクシャルハラスメントや不適切指導の相談窓口があるから使ってね、いやなことはいやとってくださいね」って動画を見せられたが、「ちょっと待ってくれ」と。「嫌と言え」と言われたら、言おうとするし、相談窓口も「使え」と言われたら使えますけど、まず大前提として教員や教育に携わったり、こどもたちに関わる大人全員がそれをやってはいけないと意識してもらわないと困るなど考えている。ま

ずやられたら「No」と言えるようこどもたちが意識することも大事だが、まずは大人たちがやらないようにすることだと思っています。

- ・ 大人たちがやらないようにとか、こどもが相談するときに自分が間違っていないかと思うのは、まず日本自体が性教育で遅れている。

30 年前ぐらいに制定されてから性教育が進んでない。

性教育をまともに受けずに育った大人たちが相談の受け手なので、相談するときに恥ずかしいなという環境は性に関する知識がないという部分もあると思うし、相談する側も知識がないから自分が間違っているかもわからないし、どう対処していいかもわからない。

性教育を学校の必修科目にするのがベストだと思う。いまの性教育は学年集会で少しやるとか、探究の時間で少しやるとか。

学校の先生も教えたくても必修科目でないので教えられない。

そこは国が決められるところだと思うので、主体的に取り組むような科目を必修科目にして、いまの遅れている日本の性教育を国際的な基準まで引き上げる必要がある。

アンケートとか現状をどうしようではなく、根本的にそもそも知識を蓄えさせるのも必要だと思う。

- ・ 性教育について本当に日本は遅れている。現場の教員側もついていけない。
教員がこどもたちに性について聴かれた時の教員の対応の仕方について、濁してしまったり正しいことを言わないと、こどもたちは「でも知りたい、これなんだろう、わかんないから調べよう」ってインターネットで調べる。でも違う情報が出てくるかもしれない。
そこで間違った情報を取り込んでしまうと、正しい知識（例えば避妊の仕方）が取り込めない。
文科省が策定している学習指導要領のはじめ規定を段階的に緩和していく必要がある。色んな教科も全部必要だが、性教育はめっちゃ大事だと思う。
それはみんなの命をまもるための教育だと思うのに、そこが日本は遅れているので、私が通っていた中学で毎年行われていたように性教育の先生方に来てもらうなどは必要で、それだけでも足りない。
ただ講演会ではなく、授業の中に入れ込んだ学校がたしか京都にある。
数学の先生だが、性教育の授業を 1 週間に 2、3 回やっている。
本当に踏み込んだ内容、避妊の用具の使い方まで実践させる。
そこまで踏み込むことで命を大切に、ありのままの自分を大切にあげて。
男らしく、女らしくっていう人もいるが、違和感を覚えるし、その人が生きやすいように生きればよい。
自分は自分らしく、あなたはあなたらしく生きたいよねっていうとこまで。
性教育と聞いて「ちょっと」となる人もいるかもしれないが、まずはそこから性意識やジェンダーの部分から入って、避妊の方法まで包括的な性教育を日本は実践していくべき。

＜学校や塾の先生に研修で伝えるうえでわかっておいてほしいこと、性教育が遅れていること以外で＞

- ・ 遠足で先生が冗談でポッキーゲームをやろうと言ってきた。
実際にすることはなかったが、そのようなことを言う時点で、先生たちの研修の場で、楽しい場であってもおふざけでも、性的に触れる行為はだめだと共通の価値観を持つことが大事。

ふざけて（ゲームの提案を）受けた子もいると思うので、まず大前提としてどんなことがあってもそのような行為はだめだという価値観を絶対に埋め込ませないといけない。

<どういう研修の使い方がいいなどありますか？座学でとか>

- ・ 大事なことは何回も言うていく必要があるので、研修会も年に1回ではなく、月に1回ぐらいないとだめ。座学だけでなく、自分で行動させてあげることによって体に染み込ませる。「このような場面ならどうする？」のようなシミュレーション教材を通して学んでいく対策も大事だと思う。週末など休日を侵害しない形で授業の時間でちゃんとできる環境を整えたい。
- ・ このテーマで実際に起こるのはケースバイケースでテンプレがないので、中の人でやるのではなく、専門家を呼んでやるのが大事。
- ・ 研修会の中でひろばのようなディスカッションの場があるといい。
教育委員会がやっているような大きな研修は2人ぐらいしか行かないと思うので、その2人が持ち帰って学校でこういう事やっていきましょみたいな議論を含めながら、こうなったらどうするか？など考えながら、ガイドブックみたいなものを策定していく。
専門家につなぐこともできると思う。教員や行政はあまり外部や民間の手を借りようとならないので、専門家などつながれるようなネットワークは大切だと思う。
- ・ 普通の人にはやらないと思うが、疲れがたまっていたり、理性が働かなくなるとやってしまう人がいると思う。先生たちの働く環境を整える。
先生たち仕事多いのに残業代が支払われないし、すごく激務なのでそういう人たちの仕事のストレスを減らすことが大切。根本の働く環境を整えることで減るのではないかな。
- ・ こどもが大人を頼るだけでなく、大人もこどもを頼ってもいいのでは。専門家の先生たちも先生同士で支え合えればよりよい教育や質の高い対応ができるのではないかな。
- ・ 研修でそのあとどうするかよりも、教えるときに性犯罪を起こすことがどれだけ重いことか認識させるのが大事。放火とかと比べると性犯罪は軽く見られがち。
- ・ 法律もできてきたのでどれだけ重いことか、性犯罪を犯した人が今後の道が狭まると意識させる。
こどもと接する立場の人間に、同じ犯罪のなかでも重い犯罪だと分からせる研修も必要。
自動車講習で交通事故を起こして死なせてしまった人のインタビュー動画が出るように、性犯罪を犯してしまった後の将来を、インタビューで見せて、いかに重いことで絶対にやっちゃいけないということを動画にして配るか、月に1回研修の時に見せて絶対にやっちゃいけないと再認識させることが大事。

<実際に犯してしまった人への再犯防止策どんなのがあればいいか>

- ・ 性犯罪をする人はだめだとわかってやる人が多いと思う。捕まったらすぐ釈放されるような法律だと結局軽い罪で終わるのでまたやる。
- ・ 闇バイトで捕まった人は1回捕まってもすぐ出られるからやったと言っていた。懲役9年の判決なので、当たり前だが法律を軽くしない。
- ・ 社会的信用を失わせる。釈放された後も、罪があることを運転免許証の備考欄に書いたり、簡単

に住居とかの手続きをできないようにする、社会的に不便にする期間を設ける等。

＜最後にいいかったこと、担当者に言っておきたいこと＞

- ・ 性被害や性加害は規模の大小があるが、まずそういうことはしない。
いま教員の人は、若い人は性教育を少し経験しているが、そうでない世代（団塊の世代）の人たちにはもっと研修で指導していく。
男の子たちはこれをやれ女の子たちはこれをやれと役割分担をさせるのはどうなのか。
生物学的な意味もあると思うが、別に協力すればできるよねっていうのはある。
そういう言動や行動をやめてほしい。
ジェンダーなどで（こどもを）責める教員がいまだに全国にいる。
発言した教員が何も思わなくても、こどもは一生傷つくかもしれない。
先生が日々言っていることで生徒に刺さっていることはたくさんある（と自覚してほしい）。
男とか女とか関係なくその生徒のことをちゃんと一人ひとり接して欲しい。
児童も生徒もお互いに性の部分を大切にすること。
教員の労働環境が悪すぎるので、労働環境はすぐ改善してほしい。
過労死ライン 80 時間といわれているが小学校も中学校も高校もどんと（大きく）超えている。
中学校に至っては 100 時間超の労働環境をまず改善する。
そうしないと教員のストレスが溜まる。
だからと言って、ストレスのはけ口にしていいわけでないが、原因をまずなくしていく。
研修含めて仕事が多くて大変となると性教育に時間を割けない。教育も改善していくなかで教員のこどもたちへの考え方を改善していくことが大事。ありのままの自分を見ておいてほしい。
- ・ 女子には「～ちゃん」、男には「おまえ」とか呼び方も思うところある。格差がでると性被害に発展しうる。みんな同じ「～さん」呼びでいいのではないか。女子で「～ちゃん」呼びを嫌がっているのを聞いたことがある。統一するとよさそう。
- ・ 伴走者がいた方がいいのかも。教員も相談されて一人で抱え込んでしまうと大変。国や県や教育の会社、大学の専門家などの協力を求められる人がいるとよさそう。
- ・ 先生の先生がいればいい。チームでこどもたちと接していく。

2 班（高校生・高専生年代 5 名）

- みなさんが性的に嫌な思いをすることなく、安心して過ごせるよう、大人や学校にどんなことをしてほしいですか？
- ・ 被害が多すぎて学校も大人も全部信用できない。ニュースとかでもそういう問題が多すぎて。学校にも教室にも入り口とかにも全部監視カメラを付けてほしい。あとそれを学校じゃなくて行政にやってほしい。

<相談しやすい大人ってどういうの？>

- ・ 先生。
- ・ スクールカウンセラーはいるが、年に一回とかの面談しかない。
- ・ スクールカウンセラーは週 2 で来る。全生徒と話す。
- ・ 年に一回しか喋ったことないから、あんまりカウンセラーと話しに行こうってならない。
- ・ いるって聞くんが、本当にいるかどうか知らない。
- ・ ずれるかもしれないが、嫌な思いというと、痴漢がすごく思い浮かぶ。痴漢を無くしたい。鉄道会社とかが対策をする、犯罪が起きている場所を管轄している、例えばショッピングモールでの盗撮だったら、ショッピングモールとか、企業っていうのもあると思う。
- ・ 最近チラシでくるが、ネットで相談みたいなの、SNS 登録して相談するというのもある。
- ・ 我々の世代っていうのは、主語が大きいけど、電話よりもチャットで相談できる方がいいっていうのはすごく思う。手紙・郵便で送るとか、電話とかではなくて、やっぱその何文字だけでやれる方が相談のハードルは下がる。
- ・ とてもデリケートな問題だから、逆に知っている大人じゃない方が相談はしやすい。ネット上の人って、ちょっと危険かもしれないけど、そういう安心できる SNS とかで相談できる場所や、全然知らない行政の人とか。それもちょうど怖いかなと思うが。
- ・ その人が信用出来たらいい。
- ・ 保護者の方が話しにくい。

<その良い距離感の大人って？>

- ・ 教育委員会。
- ・ サードプレイスの授業で中高生の居場所を作るみたいなの。大学生が放課後とか一日中そこにいてくれて一緒にボードゲームをやったり、話してくれたりみたいなの、そういう存在はいいなと思う。そういう人にアクセスできるっていうのが、色んなところ（自治体で）もっとあれば、そこまで友達でもない、親でもないが、知ってくれている、大人というよりちょっと上の（年齢の）人がいると良い。
- ・ その方が今後一生つながることないし、これまでも全然知らないという感じの人の方が、なんかちょっと相談はしやすい。

- ・ 被害を受けたときに声出しやすいのは絶対そうだと思う。
- ・ こっちの身分を隠せたら、結構色んな大人にでも話しやすい。どのくらい隠すかは個人によるが。性別だけとか。
- ・ 名前は絶対に言いたくない。
- ・ 田舎だからかもしれないが、どこのスーパーに行っても、誰か 1 人の知り合いに会う。新聞等にどこの高校の何年生の女子生徒などが掲載されていても、周りにあの子なんじゃない？ みたいな感じで特定されるから、かなりの秘匿性は欲しいなと思う。

<匿名性で本当に解決できる？>

- ・ はじめは匿名でも、例えばチャットを繰り返すうちに、信頼関係が生まれたら、どんどん自分の情報も開示できるのではないかなと思う。
- ・ 私のイメージとしては、被害を受けてすぐ相談するとしたら、どうしたらいいかわからない状態。「ここに書き込んでみたら」とか、「警察に言うのが怖ければ例えばこういう道（選択肢）があるよ」とか、その人が行政につないでくれるとかっていう窓口を想定していた。
相手が何者か、自分が何者かを開示しなくても、（適切な窓口）につなぐことはできるのでは。
- ・ 逆にそういう窓口とか設置するのであれば、その窓口経由でもいいから、心理カウンセラーとかに相談できるようなチームがあると良い。
- ・ 教育委員会とかで大事なところには、（本人が）嫌でもちょっと情報は開示した方がいいのかなって思う。その地域の人とか、周りの友達とかには、ちょっと開示してほしくないというか、開示する場所としない場所をきちんと区別してほしい。
- ・ 困ったことがあれば SOS の投稿ができる仕組みがあるが、書くと学校に伝わる。それだと相談したことが全部学校にバレちゃうので、それはどこまで学校にバラしていいのかっていうのは、ちゃんと話し合っ
て決めてほしい。
- ・ 小学校から毎回配られるが、学校でも親でもない第三の場所に SOS を書けるものののに、学校に連絡されるというのは「ええっ」ってちょっと思った。
- ・ スクールカウンセラーに話したことは、担任に伝わる。性被害に限らず、秘密を守るよって言っている、校長とか他人が知っているという経験をすると、信用できなくなっちゃう。
例えば学校の先生や同級生から、「ちょっとどうかな」って思うことがあったとか。
先生からの性被害っていうのも実際事例としてあるので、相談した瞬間に伝わったら意味ないのでは。
学校に連絡がいかない構造にはしてほしい。
- ・ ものにもよるのかもしれないけど、基本的に学校に連絡がいったほしくない。それを選択できればいい。
- ・ 診療科のカウンセラーだったら、学校には絶対に情報がいかないので、そういうところを広めるのもありかなって。

<制度を変えた後、文化としてどうやって広める？>

- ・ 完全に義務化すればいい。完全にその制度としてもう両立しちゃう。その方がむしろやり易いのでは。

＜国から全都道府県や学校とかに全部しっかり下ろして、どの学校でも実施してくださいっていうのを選択式じゃなくて、行政から全学校にやらせるみたいなそういうこと？＞

- ・ 義務化してしまった方が、逆にそうしなきゃいけないからするみたいな感じになる。
スクールカウンセラーとかも義務化になったのかな？わかんないけど、突然するようになって。
スクールカウンセラーとの面談をしなきゃいけないから、1 人ずつ行ってきたみたいな感じで、どういう制度なのか、あんまり知らされないまま、なあなあになってしまったみたいなところがある。
義務化することによって、降りてきたっていうのはあると思うけど、義務化してしまった方が良くない面もあるのかなって。
- ・ 義務化って何を義務化するかによろしいと思います。今まで出た話の中で、どの部分を義務化するかにもよろしいと思うし、例えばそんな感じでこうじゃあ、月一で必ずスクールカウンセラーと話してくださいと義務化するとしても、本当に苦しんでいる人はそこでは話さないかもしれない。そしたら、意味がないというか、本当にその苦しんでいる人を救いたっていうのには、目的は達成されないのて、その何を義務化するかっていうのて、それが本当に一番苦しんでいる子に届くかというところだて思う。
- ・ もし仮に例えば何かの対策が義務化になったとするならば、一緒にその仕組みを例えばホームルームみたいな授業とかでちゃんと説明するていうのも、一緒に義務化するべきだて思う。

＜制度について意見はあるか？＞

- ・ 学校でいじめのアンケートをやったことがあるが、そのような感じで。
性犯罪ていうかセクハラかそうではないかのボーダーラインみたいな観点で、例えばめっちゃノリのいい教師が、イイみたいな感じでボディタッチしたけど、その生徒は嫌だったとか。
教師側もどこまでがラインなのかが、あやふやだから結構問題が起きるかなて思っている。
教育を受ける生徒側が「ここからは嫌です」みたいな感じをアンケートかなんかで可視化するていいかもなって思っています。
- ・ 教員側にも教育ていうか、ちゃんとマニュアルを周知するのが大事かなて思っている。
例えば昔は良かったことが、今はもう全然ダメていうこともあるて思う。そういう発言をしちゃダメだよ。
みたいなのをあんまり深く捉えてない人も先生の中にいるのではないかて思う。
これはダメだていうのを教師に対して、しっかり講習を受けさせる等で理解してもらうてもある。
- ・ 教師側とか塾の先生とか教える側ていうか、加害者になることがある側に周知するのはもちろん大事かもしれないけど、いじめみたいなのが小 6 くらいの時にあったが、いじめられた子が周りの子が話している中に割り入っていった。
「俺の話聞けよ」みたいな感じを出していた。「俺なんかお前らの SNS を持っている。いつでもばらまけるから」みたいなことを言って、それで次第にみんなが離れていった感じだった。
その子がそれを先生に言って、「俺がいじめられている」と言っていた。
こっち側からしたら、その子が普通からちょっと離れた行動をしたから、こっちは非難しただけなのに、その子が被害者みたいになって、ニュースに取り上げられたりして。

セクハラを訴える子もそれをセクハラって受け止めたかもしれないけど、後からその先生のことが嫌いになって「セクハラがあった」みたいに言うこともあると思うから。

生徒側にも授業とかをすることが必要だと思う。

もちろんやった側に責任はあるけど、すべての事例で先生側に全責任があるわけじゃないと思うから。

● 学校や塾、習い事などで起こった、大人からの性的な嫌がらせや暴力について周りの人に相談したいとき、どうしたら相談しやすくなると思いますか？

- ・ 学校とかは面談等の制度が整えられてきたから、相談する機会もあるかもしれないけど、バイト先とかはクビになったら困るし、相談等の制度もたぶんないから難しい。
- ・ 辞められない時、どうしたらいいのだろう。即辞めるのが、たぶん今できる最善の対応かなと思うが、ものによっては警察に駆け込んでも、相手にしてもらえない等があるとしたら、とりあえず辞めるしかない。でも、その自分の事情で絶対辞められないこともあるから、その時どうしたらいいのか。
- ・ 行政に相談しても根本的には解決にならない。
- ・ 難しい。犯罪は特に証拠がなかったら何もできないとか。
相談しても止まらない、どうにもできないこともある。
相談することもすごくコストがかかる。自分が喋るのも大変。解決しないかもしれないのに大変。もうちょっとなんとかならないのかなって。
- ・ それこそ、SNS とか相談できる場所が必要なかもしれない。
- ・ 誰かに相談するときにも、解決する確証がなかったら、結構やりにくい。
相談して大ごとになったとしても、解決しなかったら、バイト先の店長とかとめっちゃくちゃ気まずくなるだけとか。結局、相談した側が不利益を被るみたいなの。
- ・ 今話していて思ったのは、もうちょっと道のりが明確ならいいのでは？
例えば被害を受けた場合に、ここに相談したら有罪だと認められたらこうなりますとか。
被害を受けたときは、どこに相談して、その後どうなるのかが全然見えない。
例えば、もし証拠が認められたら、この人が辞めることになりますとか、認められない場合でも、こういうふうに守ることができますとか。
性犯罪を受けた時に、その後、警察に相談したらどうなるかが不安。
自分が警察に連絡したら、バイト先に連絡したことが知られるのかも分からない。
その人が報復してくるかもしれないという不安があると思う。
相談したあなたを守りますとか、警察と一緒に考えますとかがはっきりあればいい。
- ・ 学校で起きたら、学校じゃないと解決できなかったりする。私の学校では先生たちは 1 対 1 で全員とチャットがつながっている。
- ・ いいなと思う。
- ・ 言いづらくても、文章だったら言いやすいのかなと思う。そういうのが他の学校に広がればいいのに。

- ・ 地元の県で、学校の先生とつながって、喫茶店に行って、ニュースになったことがあった。
学校の先生とつながるのもあるが、学校の先生だけでなく信頼できる大人を入れるとか、先生と1対1じゃなくて複数の先生を入れると良い。
面談でも1対1となると、不安要素も大きくなるから、複数の先生で聴いてくれたほうが安心度は上がる。
- ・ 大人と子どもが歳が離れていて、立場も違う状態だったら話しにくいけど、例えば生徒会の役割にカウンセラーや弁護士の機能を持たせるのはどうか。性被害を受けた生徒がいたら、生徒会に相談できる。例えば先生に相談するなら、生徒会と一緒に付いてくれる等。年の近い保護者みたいな。
- ・ 生徒会長だから信頼できるわけじゃないし、逆に部活とかで、自分の友達と先輩がつながっているかもしれない。近すぎて怖いっていうのはある。
- ・ 生徒で窓口みたいなものを作るっていうアイデア自体はとてもいいと思った。
- ・ 生徒会である必要はないと思っていて、独立した組織でもいい。
必ずしもみんなが友達に話せるわけじゃないし、友達に話せたとしても、その友達が正確な判断ができるわけでもないと思うから、ある程度知識を持った、知っている、教えられた生徒の集団みたいなのは、めちゃくちゃいいアイデアだなと思った。

<学校以外で高校生、中学生が大人と関わることはあるか？>

- ・ ネットでの被害がかなり多いと思う。
- ・ 塾とか習い事。
- ・ 外部のサークルとか。
- ・ 都心限定かもしれないが、普通に繁華街で遊んでいて声かけられるとか。

<上記の場所で、嫌なことが起きたときにどうしたら相談しやすくなる？>

- ・ SNSとか、繁華街で声かけられたりするのって、匿名だったりして、被害を受けたとしても、その加害者が誰なのか分からない。
警察側も特定できない場合は、泣き寝入りするしかないのかなと思った。
- ・ むしろSNSだったらチャットのやりとりが残っている。やり取りを記録しておけば、発信元から大体所有者が特定できる。SNSだったら記録ができるが、声掛けとなると...
- ・ 監視カメラぐらいかな。あんまり現実的ではないが、交番が性被害を受けた時のセーフポイントになってくれればいいと思っている。交番に女性警官がいてくれたら良い。
性被害の割合は女性が多いため相談しやすい。性被害は相談しても動けないことが多いという世論や常識がなんとなくある。
難しいと思うが、その後のケアとして、心理カウンセラーさんにつないでくれる、ちゃんと対応してくれるように、警察になってほしい。交番で担えるようになればと思う。
- ・ 交番って言ったら犯罪者が行くところみたいなイメージがある。例えば外壁を全部ピンクで塗っちゃうとか。平和的な見た目で見えやすい、誰でも入りやすいとか。見た目から変えられれば。

- ・ 入っていくと地域の人に見られるので、私は怖くて。それこそチャットとかのほうが良い。交番の人とチャットをつなげるのはちょっと謎すぎるけど、インターネット交番は結構いいアイデアなんじゃないか？

<性被害への価値観を変えるには？>

- ・ すごく微妙な話にはなるが、例えば性被害を受けた時に、心理的な価値観の話で、自分が悪いと思ってしまうことがあると思う。あるいは性被害を受けたこと自体が、もう人に言えないことだと思ってしまう。その認識を性教育でなくしたい。
例えば、被害を一方的に受けたなら、受けた側は何も悪くない、受けてしまったこと自体が恥ずかしいこととかではなく、今すぐ措置すべきことだといったように、被害者が罪の意識を抱かないようにすることを小学校、中学校の教育でしていくべき。
正しい認識を得られれば、そういう出来事があつたときも、自分を責める前にちゃんと人に話したりできる。それを教育に組み込めたら良い。
- ・ 小さい頃から植えつけるというか。元々は男女格差みたいなめっちゃあつたけど、今は、男女格差は全くないし、男の子の方が逆に優しいみたいな状況になってきている。

<具体的にどうするか？>

- ・ 小さい頃からそういう話をするのはどうなのかなとも思うが、柔らかく絵本で伝えることや、高校中学になったら、保健の授業とかで、そういうことをしても良いと思う。
- ・ 小学校だったら道徳とか総合みたいな教科で学校の先生が教育するのも良い。
専門家の方々からのオンライン/対面での講習をする等いろいろあると思う。
- ・ 学校に年に一回外部の先生が来て、性教育について講演会を実施する。講演会後もし話したい人がいたら、その先生と1対1で話す機会を設けている。そういうのが他もあれば良い。
- ・ たしかに地元でもNPOが任意団体なのか、小学校で、性の話みたいなタイトルで、教育活動を行っている方はいらした。そういう活動を奨励する、支援金や助成金を出すと、もう少し活発になるかなと。
- ・ NPO等の民間に背負わせるのではなく、行政や文部科学省が教育カリキュラムに性教育を組み込んでも良い。幼稚園・小学校の頃から、例えば触られたくないところを触られたら、言ってい等、正しい相談の仕方を学ぶことはできる。
- ・ 今の時代は小学校から性教育する必要があると思う。昔より今の方がネットで何でも調べられる。こどもの精神年齢というか、発達も昔よりだいぶ早くなっている。ネットでいろいろ知っているが、学校では習わないと、知識の使い方が分からない。赤ちゃんがどう生まれるのかとか、そういった知識はあるが、学校で言っていないのか、あの人は悪いのかとかを習わないので、小学校から教育に組み込んで、少しずつ調整して活用していければ。

- 学校や塾、習い事などで相談をする場合、相談を受ける大人にはどんなことを聴いて欲しいですか？どんな聴き方だと話しやすいですか？
- ・ いじめを受けていた時があったが、その時に先生はどう対応してほしいかを聴いてきた。本当は対応と一緒に考えてほしいし、対応よりもまず自分の気持ちを聴いてほしかった。一方的に聴いてくるのではなく。
- ・ 道のりを一緒に話し合って作っていけるパートナー的な立ち位置で、これから一緒にどうする？みたいな感じ。無理やりその道に引っ張っていくのではなく、自分の道を一緒に話し合って決めてくれるような感じだったら良い。
- ・ 出来事が起こった一点だけで関わってほしくない。例えば1週間後、1カ月後等で連絡を取ってほしい。児童相談所にお世話になったことがあったが、連絡する（といったのにその後）連絡がなくて。あの人が、とても優しくしてくれたけど、あれで終わりかってなっちゃったことがあったので、やっぱりそのアフターケアというか、継続的な何かこう話せるとか、コンスタントにもデフォルトでそれがあるほうが良いなと思う。
- ・ それはNPOとかにも任せていいかなって思う。
- ・ どんなことを聴いてほしいというより、聴いてほしくないことの方が多い。そのことを思い出したくないだろうし、「何が起きたの？」とか「誰からされたの？」とか、そういうことをその事務的な報告として、先生とかも書かなきゃいけないのは分かるけど、気持ちに寄り添うとか、大丈夫？とか、コンディションの調節と一緒にやることが最優先だと思う。
- ・ まず聴くことを優先するのが良い。まずは言いたいことを全部言いたいので、言いたいことを全部聴いてくれるようにしてほしい。言葉も遮らないでほしい。
- ・ 大前提だが、偏見を持って接してほしくない。
自分の経験だが、親から「そんなことでギャーギャー騒いで」みたいな言われ方をしたことがある。
自分はすごくショックだった。親世代はその程度のことは我慢した方がいとか、別にそんなの大きなことじゃないっていう思いがある。
自分がどう感じたかが大きかったわけで、最初からこうだと決めてかからずに聴いてほしい。

<どうしてくれたら話そうという気持ちになれる？>

- ・ なんでもその時に言わなかったのって言ってほしくない。それを含めてどんな面でもあんまり否定をしてほしくない。否定とか、批判をしないだろうって信じられたら話せると思う。
- ・ 聴いてくれる相手には、否定も肯定もせずに本当にただ聴くだけ意識してほしいなと思う。
- ・ ほぼ壁打ちでいい。そこにいてくれれば。

<肯定もせずというのは？>

- ・ 個人的に色んな情報を聴いたら信じ込んでしまうため、それもある。
- ・ 経験したこともないのに、「ああ、それわかるよ」みたいなことも言ってほしくない。分かった気にならないでほしい。肯定が薄っぺらい、安っぽいと感じちゃうことがある。

- ・ 身体的に女性であれば女性の方がいい。性被害を受けたときに、相手は女性の方が話しやすい。同性同士の性トラブルもあるが異性とのトラブルの方が多い。被害があったとき、異性と接したり、話したりすると、蘇ったり、トラウマになることもある。女性警官をもっと増やしてほしい。

<自分が大人で相談される側だったとしたら、どう対応すると思う？>

- ・ 家庭とか学校で悩みを抱えている子たちの塾のボランティアをしており、相談されることがあるが、もしかしたらその後もっと傷つけてしまうかもしれないと思うため、アドバイスは最低限で基本聴くことにしている。
- ・ 聴いている途中で自分が思ったことがあっても言わない。一回全部聴く。
- ・ 被害を受けたことがないため、実際に気持ちを本質的に理解することはできない。私が言ったように分かった気にならずに聴いてあげたい。
- ・ 相手からめっちゃくちゃ嫌だったと言われたら、「ああ、それな」みたいな。「それな」っていうのはちょっと軽い「ああ、そうだよね」みたいな感じ。（相談を）受けたことはないけど共感できるようなフレーズを言って、結構長い時間話すと思うので、その間に自信を付けさせてあげるようなことを言えたら良いと思う。

性被害を受けた側とやった側は立場的に強弱の関係がつく。体力的には勝てないかもしれないが、それ以外の面で「もっとこんないいところがあるじゃない」という感じで、自信を失っているときに助けられたらいいと思う。

<最後に自由に言いたい事>

- ・ 性被害の相談をするなら、男性を信用しないほうがいい。
- ・ そうとは限らないのでは？
- ・ 地元の事件に関するニュース見ると、そう感じた。そういった類のニュースも多い。どうしても偏った考え方が出てくる。
- ・ 異性の方が相談しやすいとのことだったが、とある学校では全員担任制を取っており 1 週間単位で担任の先生が変わる。色んな先生と関係を築けるから良い。色んな学校に広まっていけば良い。

<教員免許を取得するときに性教育について習うのか？>

- ・ 学部によっても学校によっても違うと思う。
- ・ （教員）免許を取るときにそれを必修にしたら良い。ある程度全員対応できるように。
- ・ まずは教師に性被害を学ばせた方が良い。現状をまず知ってほしい。マニュアルに入れるというより、全員指導する。

<どうすれば教師ひいては大人全体へその性教育を届けられる？>

- ・ 企業研修ができるように政府が声かけしたり、制度を整えたり、講師を派遣できる等してほしい。大企業からにはなるが、積極的に性教育講習をやっていく等。

- ・ かなり偏見かもしれないが、性被害の加害者になる人は、会社に勤めてなかったりする人も多い可能性がある。
- ・ そこにはたしかにどう届かせたらいいのか。
- ・ 日本人特有の同調圧力みたいなものを使っていい。性被害を起こすやつは、「煩惱すらコントロールできない恥ずかしいやつ」というものを少しずつ広めていくのが良い。

<班内振り返り>

- ・ ネットとか見ても、（地元で性被害の事件が起きると）地元が全部そうみたいな感じで書かれていることもあるため、偏見とか心にくるものだなと感じた。
- ・ 5 回程度いけんひろばに参加しているが、ディスカッション系が初めてだったため、意見が言いやすいと思った。机があったのもよかった。性被害はあまり身近ではないが、若い世代が大人の課題について考えているというのが、結構衝撃というか、そういうところに新しさみたいなのを感じました。
- ・ 親族が学校で同級生から性被害を受けて、性被害について最近よく考えるが、考えても人に言うことが無い。デリケートな問題。こういう場で話せたことはとてもいいなと。
考えている人が少ないことは感じている。でもこんなに真剣に考えている人がいるというのを知ってとてもよかった。皆さんの色んな意見を聴けたので、価値観が広がって良かった。
- ・ 私はこのいけんひろばの前まで、そういう法律があるみたいなことも全然知らなかったし、身近で性被害を受けた子もないから、生まれてから性被害について考えることがなかったが、こうやってみんなとお話できて解決すべき重要な問題だと思ったこともとても良かった。
国の方がこどもの意見もきちんと聴いて、法律を制定して、より良い社会にしていこうって思っているのが、とても嬉しいなと感じました。
- ・ 女性の比率に疑問を感じ、大学でフェミニズムを学ぶ予定だが、ネット上の情報だけだと歪んでしまう。リアルで性被害や問題だと思うことを誰かと話すことをずっとしたかった。なかなか機会がなかったため、顔を合わせてできたのが自分にとっていい経験になった。同年代だったというのも楽しい機会でした、ありがとうございました。

3 班（中学生年代 5 名）

- みなさんが性的に嫌な思いをすることなく、安心して過ごせるよう、大人や学校にどんなことをしてほしいですか？
- ・ 学校への要望で、指定の水着がすごく締まっていて体のラインがすごく見えやすい。上着を着てもいいけど、それも結構締まったものでないとだめで、嫌だと思っている。
- ・ たまに学校の先生に呼び出されたときに教室で 2 人きりになることがあるから、第三者のだれかに見守られているようにするとか、防犯カメラを使うとか、2 人きりにならないように安全な場所が欲しい。

<見守られる第三者はどんな人が良いか>

- ・ 先生に呼び出されたらもう一人別の先生とか、もう一人大人の人がいたら良い。できれば同性のほうが安心する。
- ・ 自分は女の人に相談したいと思うけど、保健の先生は女の先生だから、男の子が相談したいときに同性じゃないと嫌なこともあるだろうから、保健室とは別に相談できる場所が欲しいと思う。
- ・ やっぱり同性の方が話しやすかったりすることはある。

<スクールカウンセラーは相談相手になっているか>

- ・ 年の初めに、班のメンバーでスクールカウンセラーの部屋に行って話を聴いてみるという時間があつた。うちの学校のスクールカウンセラーは男性。
- ・ 男性だとちょっと抵抗がある。女性のほうが話しやすさは男性とは違うかな。
- ・ 曜日によって別の人がある。

<皆さんの学校のスクールカウンセラーは何人体制か>

- ・ 3 人いる。小中合同の学校で、スクールカウンセラーが結構多いので、相談したい相手を選ばせてもらえる。
- ・ 存在は知っているけど、会ったこともないし、性別も分からない。親にスクールカウンセラーに相談に行くことを一筆書いてもらわないといけないので、相談している人を見たことがない。
- ・ スクールカウンセラーに授業中に呼び出されるから気まずすぎる。去年、スクールカウンセラーが教室に来てクラスの子が連れていかれて、「何があつた！？」となった。たぶんその子が相談していたから呼び出された。
- ・ 勇気を出して相談したのに。授業も分からなくなってしまう。
- ・ 中学生になると結構忙しくて、相談したいことがあっても行けないことがある。小学生は中休みと昼休みがあつたが、中学生は昼休みだけだし、係りの仕事もあつて時間がない。
- ・ カウンセラーがどんな人かも分からないし、予約が必要。まず保健の先生に伝えて、名前を書いて予約する。すぐ相談できないから、「もういいや」となる。

- ・ 2人きりで話すことについて、心配なこともあるけど、内容が多くの人に聴かれたくないものと2人のほうが話しやすいことがある。

＜性的な悩みはいじめや家庭内の問題などに比べて相談しにくい。どんな差があるか＞

- ・ いじめは小学生や小さい頃からダメだと言われていたから気付けるけど、性的なことは小学校で若干避けてきているから、言っていることなのか分からない。
- ・ 内容が、受け入れられることなのか、問題として認められることなのか、分からない。

＜学校がしてほしいこととして、小学生の時から性被害に関する教育を積み重ねれば、いざというときに声を挙げやすくなる感じた。では、学校や先生に何を求めるか＞

- ・ 前に性教育の授業を受けたことがあるけど、教えられたのは最低限のこと。先生たちも最近になってLGBTQなどを知り始めたから先生たちも知識がない。授業を受けてはいるけど、先生たちにもっと知識があったほうが良いんじゃないかな。
- ・ オープンにしろとは言わないけど、避けているといざとなったときに言い出しづらいので、そこはしっかりやるべきだと思う。
- ・ 昔にはなかった今だから起きる問題も多くなってきているので、先生方がそういうことについてしっかり知っておいて、教育していくのが大事かなと思う。
- ・ 学校で、「これがあったらやばいよ」とか「これは相談したほうが良いよ」とか教えてほしい。何も分からないから、自分が悪いかも分からない。
- ・ 今は幼稚園生に対する性暴力もある。私は親に小さい頃から「こういうことがあったらすぐに言うんだよ」と教えてもらってきた。小さい頃から教えることが大事だと思う。
- ・ 親にも知識があった方が良いと思う。
- ・ 幼稚園や保育園のこどもが自分で判断するのは難しいと思うから、周りの人もしっかり見守る必要があると思う。
- ・ 親に教えてもらえてなかったら、何かあった時に言いにくくなると思う。

＜他にどういう仕組みがあれば良いと思うか＞

- ・ みんな被害者を守っている感じがするけど、加害者も何かストレスがあったのかもしれないし、加害者を少なくしてほしいなと思う。被害者ももちろんかわいそうだけど、加害者もかわいそうでもあるし、加害者はストレスを溜め込んでいたかもしれないし。学校でも、先生たちが相談できる場所があってもいい。
- ・ 加害した時の処罰を重くすれば、やけくそになって性暴力する人は出ないのかな。処罰が軽すぎると、ストレスがたまったときにやっちゃうと思うけど、ストレスが抱えたときにも思いとどまれるくらいの処罰があれば良いと思う。

＜処罰以外に、被害を防止する方法はあるか＞

- ・ 小さい時から先生たちも教育が必要になると思う。
- ・ 詳しい方法は分からないけど、被害を受けた人がどれだけ辛いかを色々な人にしっかり分かってもらう。被害を受けないと分からないようなことも理解できると、減るのでは。
- ・ 信号無視も、見られていないからやる。だから、2 人になる状況を作らないとか、監視カメラを置きまわるとか、絶対に誰かに見られる状態にするのが大事だと思う。人の心は変わらないと思う。
- ・ 日々の生活のなかで一人になりたいときや、誰もいない空間でゆっくりしたいときもあるので、防犯カメラがあると落ち着かない。
- ・ 盗撮とかは監視カメラを付けても…。
- ・ スクールカウンセラーが学校に複数にいる状態を、全国の自治体で統一されればいい。
- ・ スクールカウンセラーに相談するときに、呼び出しはやめてほしい。
- ・ 自分の学校はスクールカウンセラーが 2 人いるが、2 人ともいる日もあれば、いない日もある。
- ・ 自分の学校は週に一回だけ 1 人来る。相談したい人はスクールカウンセラー室に行くけど、顔をみたこともないし話したこともないから他人状態。

<スクールカウンセラーには、どうすれば相談しやすい環境になるか>

- ・ 週に 1 日しかないのに予約制だから、相談できるのは 2 か月後とかになる。
- ・ カウンセラー室が人の目につく場所にあるから、入っていくのを人に見られるのに抵抗がある。
- ・ 理科室とかがある階にカウンセラー室があるから、あまり他の生徒にバレない。
- ・ スクールカウンセラーが多いので、深刻な悩みがなくても普通に話せる。学校になじめない子がカウンセラーと話していたりもするので、結構賑わっている。楽しいものになればいいと思う。
- ・ カウンセラー室が保健室の隣にあるから、保健室の先生にも相談できる。
- ・ カウンセラー室がどこかも分からないし、名前も性別も知らないし、いることもほぼ知らない。
- ・ 学校でしっかりスクールカウンセラーの存在を教えてもらえない。
- ・ 年度の終わりにカウンセラーが異動するといわれたけど、「誰？」って感じだった。

<意見箱は学校にあるか>

- ・ 匿名で出せないの、匿名で出せるようにしたい。一回意見を出そうと思った時に、匿名で出せなくて止めたことがある。

● 学校や塾、習い事などで起こった、大人からの性的な嫌がらせや暴力について周りの人に相談したいとき、どうしたら相談しやすくなると思いますか？

- ・ 身近な人にされたら余計相談しづらい。
- ・ 人を信頼できなくなる。
- ・ スクールカウンセラーに相談した情報が保護者に勝手に流れていたというニュースを見た。秘密を守ってもらえていないと相談した人は嫌だろうし、ちゃんと秘密にするというルールやマナーを守ってくれる状

況があれば良いな。

- ・ 先生に相談してもどうせ何もしてくれないという気持ちが大きい。絶対にその人を許さないし、法的に処置するという人に相談したいな。警察とかに相談したほうが、どうにかしてくれるかなと安心する。
- ・ 警察はすごい人みたいな印象がある。
- ・ 匿名で相談できればいいと思う。

<匿名で相談できる方法として、（学校で）皆さんに相談カード、SOS カードが配られていると思うが、これには相談はしやすいか>

- ・ ちょっと考えられない。電話することが多いけど、電話がまずできるような状態ではないというか、電話したらバれてしまうもある。電話しないとなると学校や周りの先生に相談かなと思うけど、それもなかなか、学校で呼ばれちゃうかもしれないし、どうしようかなって考えてしまう。

<SNS の相談でもバれてしまうのか>

- ・ SNS はバレない。
- ・ 履歴が残るものは匿名性が低い。
- ・ 皆が皆 SNS を使えるわけでもない。

<相談カード、SOS カードに書いて投函する方法はどうか>

- ・ 投函しても、相談内容が知られるだけで何もしてくれない。相手は名前も何も知らないから、なにも返ってこないじゃないか。
- ・ リスクがあるのに、書いても「頑張ってね」くらいしか言われなかったりする。
- ・ SNS でこういうことがあって、学校の先生に伝えたらすぐ動いてくれたけど、警察に言うかとなったときに、学校の人も「警察は…」となったし、親も「警察には伝えなくていいです」となった。警察に伝えるのは面倒くさい、怖いって思っている人が多いから解決につながらないような方が多いのかなと思う。

<自分や友達が悩んでいるときに相談するのはハードルが高いか>

- ・ 性的なことではないけど友達から相談を何回か受けたことがあった。年齢が離れていると相談しづらいけど、同学年だったら気軽に話して、友達のことだから何とかしてあげたいと思う。大人に相談しても自分の仕事増えるし、面倒くさいから「そっか」だけで終わりそうだけど、友達相手だと友達のために動こうって思える。年の差があったら、結構ハードルが高くなってしまう。
- ・ 大人に比べたら友達のほうが話しやすいけど、解決につながるかと言われたらそうでもない。スクールカウンセラーに相談した方が解決につながる効果が大きい。

<友達に相談を受けたらどうするか。事前説明会で例に挙げたような、友達が先生から性被害を受けているような事例が起きた場合はどうするか。>

- ・ その友達が何を求めているのかによる。大人に知られたくないなら、それに協力する。

- ・ 絶対言わないと言って、自分の親にだけ言う。
- ・ 本人が言ってほしくないなら、だれにも言わない。ちょっとでも気持ちを軽くするために相談してくれた可能性もあるから、誰にも言わないでねと言われたら言わない。
- ・ 職員室でぶちまけちゃうかもしれない。大きい声で全員に聞こえるように。たくさんの大人に聴いてもらったら、絶対対処するじゃないですか。一人だったら先生もどうしたらいいか不安になるかもしれないけど、10人くらいが聴いていたら一気にいける。
- ・ 被害を受けている人にとっては大人に言いたくないかもしれないけど、被害を受け続けるほうが辛いと思う。相談を受けたら大人に伝えたほうが友達にとっても良いと思う。

<この人には言いづらい、相談しづらいというのはあるか>

- ・ もし担任に何かされているとしたら、副担任には言いづらい。副担任一人に相談したら、「こんなこと言われているけど、どうなんですか」って担任に伝わりそう。つながってほしくない。
- ・ 高い確率で担任の先生に伝わりそう。
- ・ SNS で性的な問題が起きたときに、親からダメだと言われていたのに問題が起きちゃって、自分に非がある気がして言いづらい。
- ・ その場所に一人で行っちゃったとか、しょうがないよねと思うかも。
- ・ 先生一人に伝わってももみ消されそう。何人かに聴いてほしい。
- ・ 先生と先生の関係がどうなっているのか生徒からは分からない。

<先生が何もしてくれなさそう、もみ消されそうと感じるのはなぜか>

- ・ 一回もみ消されて本人が仕方なく親に相談して教育委員会に連絡して発覚したというニュースをテレビやネットで見た。大人は面倒くさいから、「わかった」と言ってその場で流しちゃう、対処してくれないというイメージ・偏見がある。
- ・ 学校の先生は忙しそうだから、相談してもっと困らせたり先生の仕事を増やしたりしていいのかなと遠慮しちゃう。
- ・ 小さな問題でも解決してくれない、「そうなんだ」で終わることが多い。日ごろの積み重ねで、相談しても何もしてくれないと思っちゃう。

- 学校や塾、習い事などで相談をする場合、相談を受ける大人にはどんなことを聴いて欲しいですか？どんな聴き方だと話しやすいですか？

<困ったことがあった時に相談しやすい大人はいるか、その大人ってどんな大人なのか>

- ・ 同じ学年の先生で、相談を親身に乘ってくれる先生がいる。その先生なら相談してもいいと思える。
- ・ スクールカウンセラーの先生が一番。相談するスクールカウンセラーを選べるけど、毎回同じ先生を選んでる。自分の話を毎回のめりこんで聴いてくれるので、話しやすくて助かっていると思う。
- ・ 担任の先生も話せば聴いてくれると思うけど、スクールカウンセラーのほうが色々な話を聴いてくれるの

で、話しやすいと思う。話を聴いてくれるなら、担任の先生でも大丈夫。

- ・ 中学だと教科によって先生が違うので、担任の先生と会える時間が少ない。
- ・ 先生の人数が多いから、先生との関係性があまり無い。名前を知らない先生もいる。
- ・ 優しい先生はいるが、相談するまではいかない。
- ・ こどもがいる先生は、子育てやこどもに対する知識があるし、授業中の分からないことも親身に対応してくれるから、相談しても親身に対応してくれると思う。

<学校や習い事の先生で、性暴力をしてしまったという話を聞いたことはあるか>

- ・ 友達の学校である。友達も、「いつも関わっている先生でそんなことをする人だと思っていた」と言っていた。「先生だから信頼していたのに信頼できなくなる」とも言っていた。
- ・ 同じ学校の小学生で先生と生徒で何かあったらしくて、先週先生からの宣誓があった。

4 班（高校生・高専生年代 4 名）

- みなさんが性的に嫌な思いをすることなく、安心して過ごせるよう、大人や学校にどんなことをしてほしいですか？
- ・ 先生と生徒の接触を制限する法律を作る、何時以降は会っちゃだめなど。授業ではない場面で会う機会を減らせば、そういったその性的な嫌な思いをするという可能性が減らせるのではないか。
- ・ 放課後に教室で、先生と生徒が 1 対 1 で密室状態にならないようにする。放課後防犯カメラを 1 個稼働させていけば抑止力になるのではと思う。
- ・ 生徒に対しても特別授業で性被害に遭わないためにどうするかとか、そういうことがあったときにどうすればいいかっていう授業を開いたらいい。
- ・ 既存のものに加えてもうちょっと具体的に性教育をした方がいいと思う。性教育の頻度をもっと上げて、月 1 回とか朝のホームルームの時間とかを活用できればいいかなと思う。
- ・ 今だと多分何か特別に時間を設けて集まるって感じだけど、そうじゃなくてホームルームとかで、自然と日常の中でそういうことを知る機会があれば。

< どのような内容を教えれば良いか？ >

- ・ 対策の方法とか、誘われたときの断り方とか、被害に遭っちゃったら、どこに相談すればいいかと教える授業。
- ・ 民間の力が要りそう。例えば警備会社とか。
- ・ たしかに防犯カメラとかは必要。
- ・ 加えて、警察官が不定期で放課後に回るとか。

< そういう対策をどの年齢から始めるか？ >

- ・ 小学校から学んでおかないと、この先怖い目に遭う可能性もあるし。そういう最初の頃からの学びでないと、抑止力にならないと思う。
- ・ さっきのホームルームとか毎月考えとかのうちの一回は外部からの性暴力等の専門家の方を呼んで授業を受けるのもよいのでは。
- ・ 性に関するカウンセラーを置く等。

< 学校以外のプライベートではどうか？ >

- ・ 駅とかショッピングモールとかで性被害を受ける可能性があるような場所に駆け込める先を設置する。例えば、ショッピングモールに交番をつけるとか見回りをしてもらう等。商店街だと市の方々が見回りをする等の活動があるので、それを全国でしていけたら。
- ・ ショッピングモールだけでなく、公園とか公衆トイレも起きやすい。そういうところでもパトロールすることによって性暴力が起こることを防げるのではと思う。町の死角みたいなところ。

- ・ 被害に遭いそうだなってなったときに、防犯ブザーみたいにボタンひとつで警察に連絡できる仕組みがあったらいいと思います。

＜小さいときにこれ知っとけば良かったなと思うことはあるか？＞

- ・ 断り方が大事だと思う。

＜ただ嫌なことは嫌だっていう断り方じゃなくて、そこでさらなるトラブルを引き起こさないための断り方とかが難しいってことで合っているか？＞

- ・ 断ると暴力で無理やりするようとするかもしれない。そうならないための断り方がない。

＜自分を守るための断り方ってということですかね？＞

- ・ いじめを受けた場合とか、SNS で相談できるものがある。今性暴力のことがあるか分からないが、性暴力受けたら SNS で外部の方々となげるようにして話せる機能があればいいかなと思う。顔や名前を隠せるので、安心して相談できるかなと思う。
- ・ そういう SNS のいじめ相談窓口があるというプリントをもらったことがある。
- ・ 教育委員会に通報できるようなシステムがあればいい。
- ・ 国家レベルとして通報先で文部科学省とか警察庁とかに行くのはどうか。
- ・ 学校の中には、スクールカウンセラーがいたりするが、やっぱり顔を知られちゃうとちょっと嫌だなぁと思うから、そういう匿名性の高いものの方がよくて、言いやすい環境を作してほしい。
- 学校や塾、習い事などで起こった、大人からの性的な嫌がらせや暴力について周りの人に相談したいとき、どうしたら相談しやすくなると思いますか？

＜身内への相談も抵抗あるか？＞

- ・ 言葉にするのが難しいのではないかな。どういことをされたか、具体的に言おうとすると、文字にした方が相談しやすいのではないかな。
- ・ 学校にあるいじめのアンケートみたいに、性暴力に関するアンケートを実施すればよいのでは。今の頻度は学期ごと。同じような頻度でやればよいのでは。
- ・ アンケートは私の学校では最近記名になった。
- ・ 学校だとたくさん生徒がいるため、匿名だと生徒を特定できないため、記名の方がいいと思う。

＜匿名の方が良いか？＞

- ・ 匿名のほうがいやすい人もいるなら、例えば学年だけ聞いたらどうだろうか。ざっくり（属性を）聞くのか、氏名まで書いてそのあとでトラッキングできるようにするのと、どちらの方がよいかな？
- ・ 難しい。先生からすれば見えるため、その際は匿名がいいが、具体的な対策はできないというデメリットはある。
- ・ 本当に具体的な対策を立てるとしたら、やっぱり記名式のほうがいいかもしれない。それで本音を言

えそうか？

- ・ いいなとは思うけど、担任の先生とかに見られるのが嫌な場合は、学校にスクールカウンセラーや外部の専門の方を呼んで、その方に直接アンケートの結果を渡すのはどうか。専門の外部の人が回収するのなら記名でもよいなと思う。

<塾とか習い事とかの学校以外の場では？>

- ・ 普通に警察を入れればいい。警備会社に頼んで見回りをするという方法もある。
- ・ 駅などのトイレに体調不良になった時にボタンを押したら駅員さんが来るみたいなボタンがあるが、そういうもので性暴力を受けた場合に、このボタンを押して警察につながりますよみたいなものがあればいい。
- ・ 意外と既存のものでも展開できる仕組みがあるかもしれない。
- ・ いたずらとかが増えるのがちょっと懸念。
- ・ いたずらをした人には罰金とかを設ける等。

<身近の人間にはやっぱり知られたくない？>

- ・ 知られたくない。
- ・ 学校、習い事全部共通だけど、電話ボックスを設置してすぐ通報できるような環境をつくるのはどうか。それに関する専門家につながるようにして。携帯とかだといたずらもあるかもしれないから。

<こうなっていたら家の人とか身近な人に言えるかもしれない、というのはある？>

- ・ 相談するのが恥ずかしいとか、心配かけたくないという気持ちがあると思う。気にしないでいいから相談しようっていう声かけが大事。
- ・ 今の話を聴いていて、いじめの問題とちょっと似たところがあるなと思う。
相談するときに、自分は相談したいけど、ちょっと相談しづらいという。
だから第三者に相談するとか。
相談の窓口がより身近だったら、より相談しやすいのではないかなと思ったし、他の人に迷惑かけたら嫌だなとか、ちょっと恥ずかしいなあっていう思いが、どうしてもどこかにあって、ちょっと相談のハードルを上げているというか、難しくしているのではないか。

<身近な人に相談すると迷惑ではないかという思いがある？>

- ・ はい。

<今実際に学校でやっているアンケートも回数を重ねるごとに言いやすくなるもの？>

- ・ はい。

<性的なテーマのアンケートでもそうだと思うか？>

- ・ うーん。難しい。でも書ける人は書けると思う。

＜家庭内で何かできることってある？＞

- ・ 性教育に関する保護者向けのセミナーがあるといいかなと思う。どうやったら子どもが話しやすいかなどのアドバイスのような場があればいいかなと思う。
- ・ 子ども向けは多いけど、保護者向けはたしかに少ないと思う。

＜それは専門家がやるのか？学校でやってほしいのか？＞

- ・ 外部にやってほしい。教育委員会の既存のセミナーがあるので、それをベースに活用できれば。
- ・ そこで教わったことを親から聞かされるのは、受け入れられると思う。
- ・ こどもの異変にも気付きやすくなるのかなと。身近な大人だからこそいいのかなと思った。
- ・ その保護者のセミナーを開くとして、どの時間がいいのか。共働きだと忙しくて誰も行けない。
- ・ 音声だけでは難しいかもしれないけど、通勤通学途中に音声だけでそういうセミナー内容を伝えられるようにしたらいいのでは。
- ・ 参加記録も付けられると良い。
- ・ たしかに学校主体でやると共働きとかだと参加しにくいかも。

＜既存のものではなくて、新しいアイデアなどはある？＞

- ・ 性暴力にあったときのために、そういう感じのプログラムとか受講して、それを全部コンプリートしたら各種ポイントをもらえる仕組みにしたら、性教育を理解している人が増えるのではないかな。
- ・ 最後に確認クイズとかを設けて、理解度をチェックするのも良い。
- ・ そういうのだとスポンサーとかで企業も巻き込めそう。
- ・ 塾に通っているが、塾のトイレの目の前に防犯カメラが付いている。それも小中高とかの学校でも取り入れたらいいのではないかなと思った。
- ・ 今学校には付いてないが、校門とかにつけるのはどうか。
- ・ 授業中は消して、放課後は稼働とか、時間制にすればいいのではないかな。
- ・ 人感センサーとかもあり。
- ・ コストがすごそう。
- ・ そもそも性加害とか暴力っていうのは、加害者のストレスとか不満とかなどが背景にある。教員ってとてもブラックって聞く。なので、そのブラックなところを改善できたら、仕事に満足できたら、その教員から生徒への加害っていうのは減ってくれるのではないかなと思う。
- ・ 最近部活とか、学校の教員だけじゃなくて、外部の指導者にお願いするという形が多いと思うが、そういう感じで、どんどん外部の人になんか頼っていったら、教職員の仕事の量とかが減って、ちゃんと時間通り帰ったり、ストレスが減っていきなりではないかなと思う。
- ・ 先生たちがストレス溜まってそうなのは生徒から見てもそう思う。
- ・ 授業だけじゃなくて保護者とかの対応もしなきゃいけないのは大変そう。そこを分けられたらいいな。

先生が忙しそうだから相談止めちゃおうと遠慮してしまうのもあるかもしれない。

- ・ 実際に、相談したいのに職員室にいないこととかがある。先生も休んでいいよという空気が社会に広がると良いと思う。
- ・ 学校の先生だけでなく、家の人が忙しそうだから、心配かけたくないな、という遠慮もある。
- ・ 教職員の給料を上げるのはどうか。
- ・ 仕事の時間をもっと減らして、授業と生徒の面倒を見る先生をしっかりと分けて分担したらいいかなと思う。

<スクールカウンセラーは常駐か？>

- ・ スクールカウンセラーは月に2回で常駐ではない。学校によって違うと思う。
- ・ 法律で変えられるところはあると思う。
- ・ 学校で相談しにくい場合はオンラインで面談するとかもありかなと思う。相談していることが第三者に知られにくいし。

<保健室の利用ってどんな感じ？利用しやすい？>

- ・ 先客がいると遠慮したりしちゃう。
- ・ 1つの保健室に2、3人担当者がいると十分対応できるのでは。
- ・ 確か高校から保健室は義務ではない。私立では設置してないところもあって、職員室が兼任しているところもあると聞いた。生徒何人につき保健の先生何人みたいに法律で定めるといいかも。

- 学校や塾、習い事などで相談をする場合、相談を受ける大人にはどんなことを聴いて欲しいですか？どんな聴き方だと話しやすいですか？

- ・ アンケートフォームで書けないか？全部任意にして、細分化したくなくちゃいけないし。
- ・ フォームはよく使う。SNSのアンケートはあんまり使わない。文章打てない。はいいいえだけだし。
- ・ 秘密厳守は必須。録音はしてほしくない。SNSとかでは相手によるが残しておいても良いかなという感じ。

<対面の相談ではどうすればいい？>

- ・ 友達が電車で痴漢に遭ったことがある。交番に相談に行ったが、交番には男の警察官しかなくて、被害に遭った子は女の子だったが、男性の警察官から具体的に質問された。それが二次的な被害だった。そこも改善できるポイントなんじゃないかと思う。男性だったら男性の方が質問しやすいし、女性だったら女性の方が質問しやすいと思う。そこが結構大事かなと思う。
- ・ SNSで相談するときに、相談する相手、相談しやすい相手を選べたらいいと思う。相談相手のプロフィールを見られると良い。

＜相談相手の年齢は近い方がいい？ 専門家の方が良い？＞

- ・ 同じ年齢の方が良い。専門家だったら年齢は気にしないかも。

＜専門家とは、公的な有資格者かそういう教育を受けたボランティアの方が良い？＞

- ・ 法的に認定されていると安心。認定されていると秘密保持を破ったときに罰則があるなど信頼がありそう。

＜こういうのはやめてほしい。こういうのは避けてほしい。というのはある？＞

- ・ 具体的に聴くのをやめてほしくて、感情で共感してくれる人が欲しい。

＜みなさんの言う共感ってなに？＞

- ・ 被害者の立場に立って、いやな思いを受けたのを受け止めてくれる人。
- ・ 一方的に話すのではなくて、被害に遭ったからこうしてほしいということを聴いてくれること。

＜どうのことを相談相手に皆さんだったら期待する？ その場限りなのか？＞

- ・ 相談して終わりはだめ。改善策は欲しい。聴き出した内容をうまく何か政策なのか、法律なのか分からないけど、専門家のところに届けていくというのはしてほしい。
- ・ 被害をすべて集約するシステムがあれば良い。犯人を逮捕する、供述調書を取ることで終わりではなく、どういう背景でどう起こったのか、どういう人が被害に遭ったのかを、全部まとめるプラットフォームみたいながあると、学校側も対策もしやすいし、より良い社会になるのではないかな。

＜そのプラットフォームのアクセス権限はどうする？＞

- ・ 一般に公開することを義務化するか。どれだけ被害があるのかは知っておいた方が被害の防止につながるのではないかなと思う。

＜どのぐらいの情報を載せるのか＞

- ・ 被害者の名前や個人情報はない方が良い。時間帯とか年齢とかは気を付けることにつながりそう。場所も個人につながりそう。
- ・ たしかに個人が特定できるのは良くないし、その人じゃないのにあの人じゃない？ みたいな噂話にもつながりかねない。
- ・ 被害者だけでなく加害者の情報も入れると、こういう加害者に気を付けようとかの意識が芽生えるから良いと思う。
- ・ 性犯罪は再犯率が高い気がするので、刑務所にいる期間も 20 年等、刑期を延ばすのもあり。

＜まとめ＞

- ・ 今日は性に関する話だったが、教育現場ということできじめとかがある。

どうしても教育現場で性暴力ということになるといじめもちょっとある。

いじめ対策も含めてやっていきたい。僕たちと保護者、学校職員の方々もそういう勉強をした方が抑止につながるとというのが一番感じた。

皆さんの意見を聴いてから、そんなことあったのだなと新しい発見になった。

特に私立学校の保健室の話とかすごく楽しかったです。

- ・ 性別や立場に関係なく、お互いに尊重し合えるっていうのが大事なと思っている。
教師から生徒も大事だけど、生徒から教師を尊重するのもすごく大事。
お互いにリスペクトし合えるからこそ、信頼できる。
1 個疑問に思っているのが、小学校と中学校は道徳の授業があるが高校はない。
高校での勉強も大事だが、世の中生きていく上では、道徳の授業も必要。
学習指導要領的に小学校、中学校まで重ねていったものが、高校で 0 時間になっちゃうのはどうかなって。まあ週に一回でもいいからあると良いと思った。
- ・ 社会問題をどうしたら改善できるかなとか日々考えているが、1 人で考えるより、こうやってみんなで集まって意見を出し合って、自分では思いつかないこととかもあって、とても有意義だった。
- ・ 今この世の中で、性犯罪に巻き込まれている人が多くなっている。被害者も増えている中そういう被害者の声とかもテレビで聞くと、自分も（被害に）遭わないとは言えないなと思っている。1 人でも多くの被害者が減る世の中になればいいかなと思っている。